

公開WEBシンポジウム 仏教とSDGs

現代社会における仏教の平等性とは
～LGBTQの視点から考える～
11月5日(木) 午後6時～8時

参加無料

定員：100名

(公財)全日本仏教会は2018年に開催したWFB世界仏教徒会議日本大会において東京宣言を採択し、SDGsの具現化を進めております。

前回、SDGsが掲げる17の目標のうち、ジェンダー平等の実現への取り組みとして女性の視点から考えるというシンポジウムを行いました。(YouTubeにて公開中)

今回はLGBTQの視点から考えるシンポジウムを企画いたしました。LGBTQの方々をはじめ多種多様なあり方を尊重し、すべての人が、自らの人生を自分らしくありのままに生き、幸せでありたいと願うことは、「一切の生きとし生けるものは、幸せであれ。」という仏陀の教えの根幹にも相通じるところがあります。

また、理念的な部分だけではなく現実にお墓や戒名、葬儀や結婚などの人生の節目にあたって性的マイノリティとされる当事者の方々に寄り添うこと、令和という新しい時代にあって様々な性のあり方に、これからの仏教界はどのように取り組んでいくのか。

SDGsが掲げる、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」世界の実現に向けてなにができるのか考えてまいります。

提言



西村宏堂

浄土宗僧侶
メイクアップアーティスト



杉山文野

株式会社
ニューキャンパス
代表取締役



川上全龍

臨済宗妙心寺派
本山塔頭 春光院副住職

コーディネーター



戸松義晴

全日本仏教会理事長

全日本仏教会WEBページ又は、
下記リンクよりお申込みください。

申込み締切：11月4日



<https://forms.gle/ifyYELuYLxRKai1h7>